



株式会社 ジェイ・エム・エス

<http://www.jms.cc/>

証券コード 7702

2013年(平成25年) 3月期 第2四半期

2012年(平成24年) 4月1日 ~ 2012年(平成24年) 9月30日

連結決算の概要

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績ハイライト

当上半期 2012年(平成24年) 9月期 — 増収増益 —

(%表示は、対前期増減率)

売上高 239.4億円(6.7%増)

売上高	【国内】 -血液透析装置・人工腎臓用血液回路の販売が引き続き伸長
	【海外】 -米国向け成分献血用回路・誤穿刺防止機構付翼状針の販売が増加 -中国国内向けA V F 針（血液透析用針）の販売が引き続き堅調

営業利益 9.9億円(139.9%増)、経常利益 11.8億円(102.9%増)、四半期純利益 7.0億円(148.1%増)

利益	-増収による利益増加が人件費などの固定費を吸収 -在外子会社において為替が有利に作用 -持分法による投資利益の計上
----	---

中間配当に関する事項

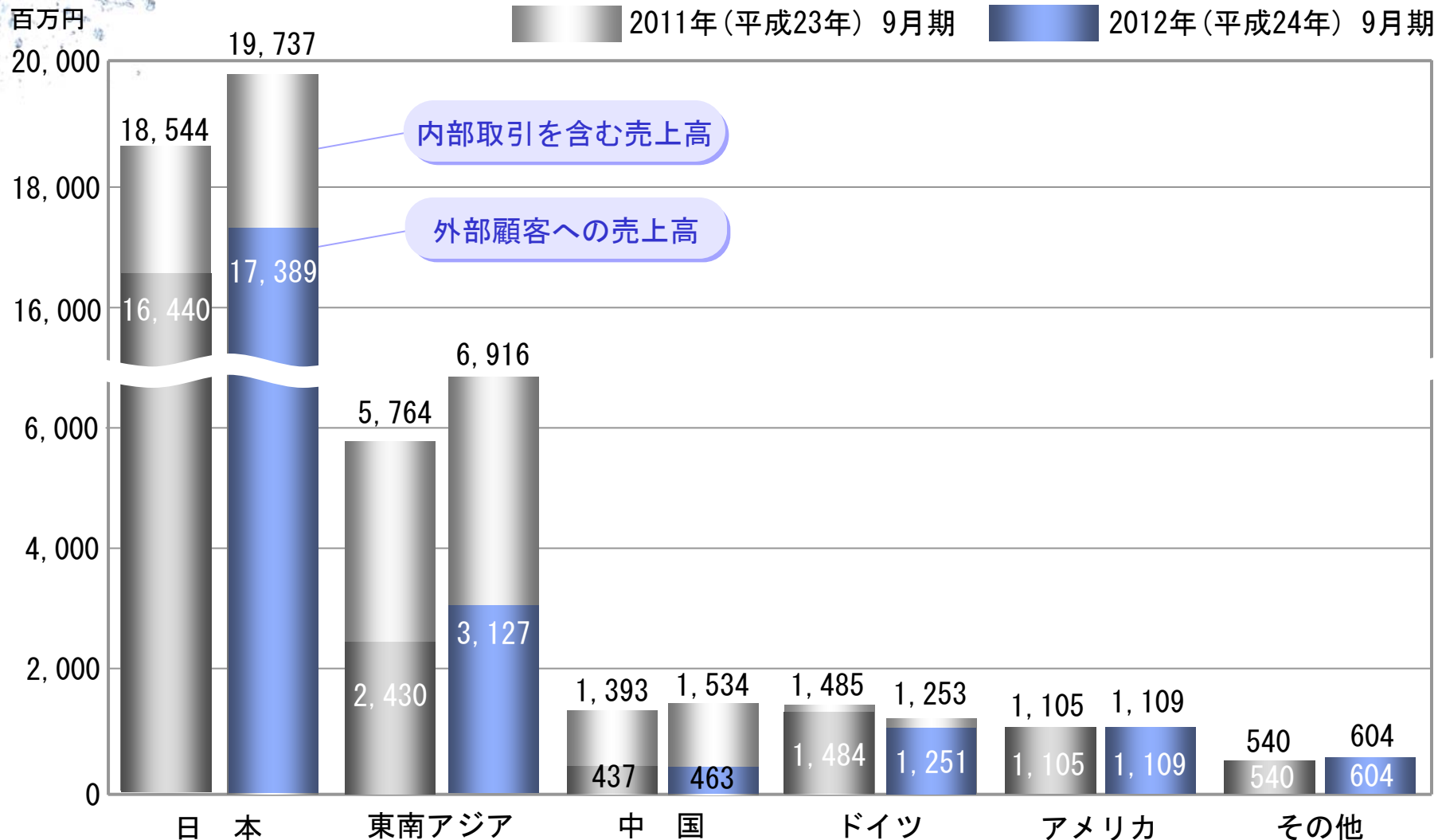
1株当たりの金額： 4 円

増収増益

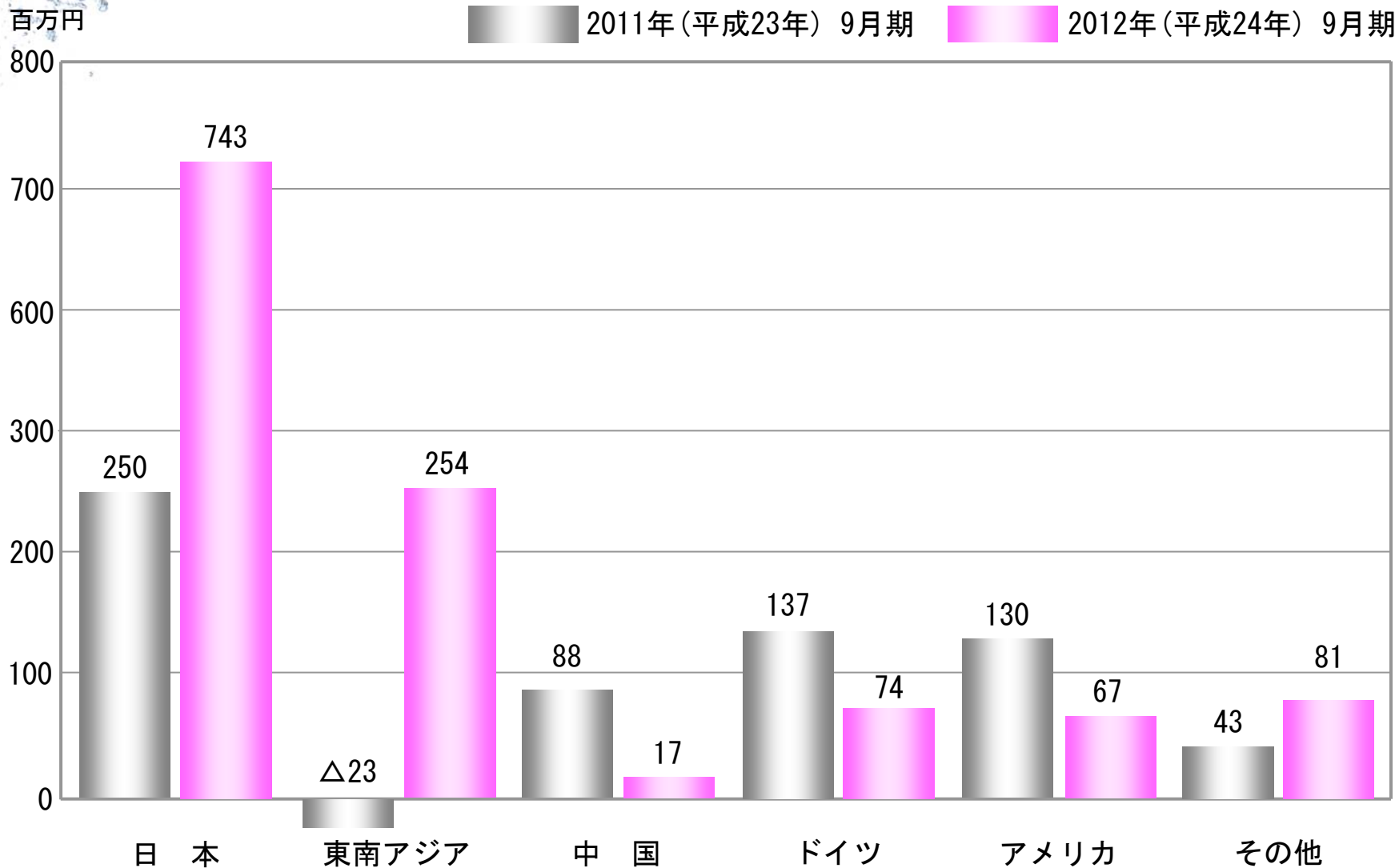
百万円

	2011年 (平成23年) 9月期 実績	2012年 (平成24年) 9月期 実績	対前期 増減率
売上高	22,438	23,946	6.7%
営業利益	414	994	139.9%
経常利益	584	1,185	102.9%
四半期純利益	286	709	148.1%
一株当たり 四半期純利益	6.63円	16.45円	---

セグメント業績・売上高



セグメント業績・利益



セグメント業績



対前期増減率



日本

売上高	19,737 百万円	6.4%
セグメント利益	743 百万円	196.9%

血液透析装置や人工腎臓用血液回路の販売が引き続き伸長。



東南アジア

売上高	6,916 百万円	20.0%
セグメント利益	254 百万円	-

米国向け成分献血用回路や日本向け人工腎臓用血液回路の販売が好調に推移。



中国

売上高	1,534 百万円	10.1%
セグメント利益	17 百万円	△79.7%

日本向け輸液セットや中国国内向けA V F針の販売が引き続き堅調に推移。



血液透析装置

「GC-110N」

血液透析を安全かつ効率的に行うための装置です。人工腎臓用血液回路内などの洗浄や血液の脱血/返血など、透析時の複雑な機械操作の大部分を自動化することで、医療の効率化と誤操作防止に貢献します。



人工腎臓用血液回路

血液透析を行う際、体外へ取り出した血液を、血液透析装置を用いて循環させるためのチューブです。

セグメント業績



対前期増減率



ドイツ

売上高	1,253 百万円	△15.6%
セグメント利益	74 百万円	△46.2%

ドイツ国内向けA V F 針の販売は引き続き伸
長したものの、透析用チェアーの販売が減少。



アメリカ

売上高	1,109 百万円	0.3%
セグメント利益	67 百万円	△47.9%

北米向けA V F 針の販売が低調に推移したも
の、誤穿刺防止機構付翼状針の販売が増加。



その他

売上高	604 百万円	11.9%
セグメント利益	81 百万円	88.6%



A V F 針（血液透析用針）

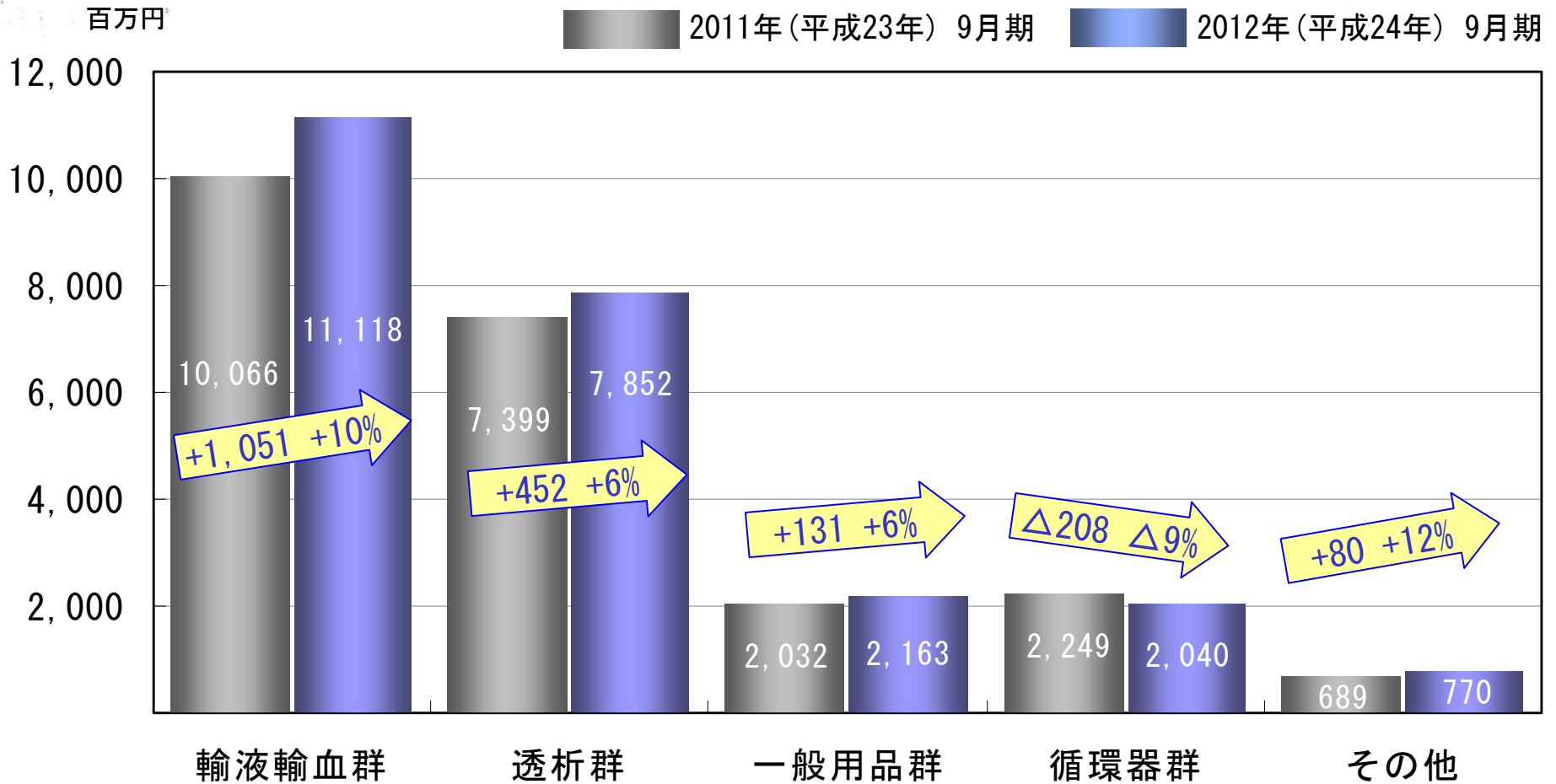
血液透析を行う際に、シャント（動脈と静脈を接合した部位）から血液を体外へ取り出すための針です。



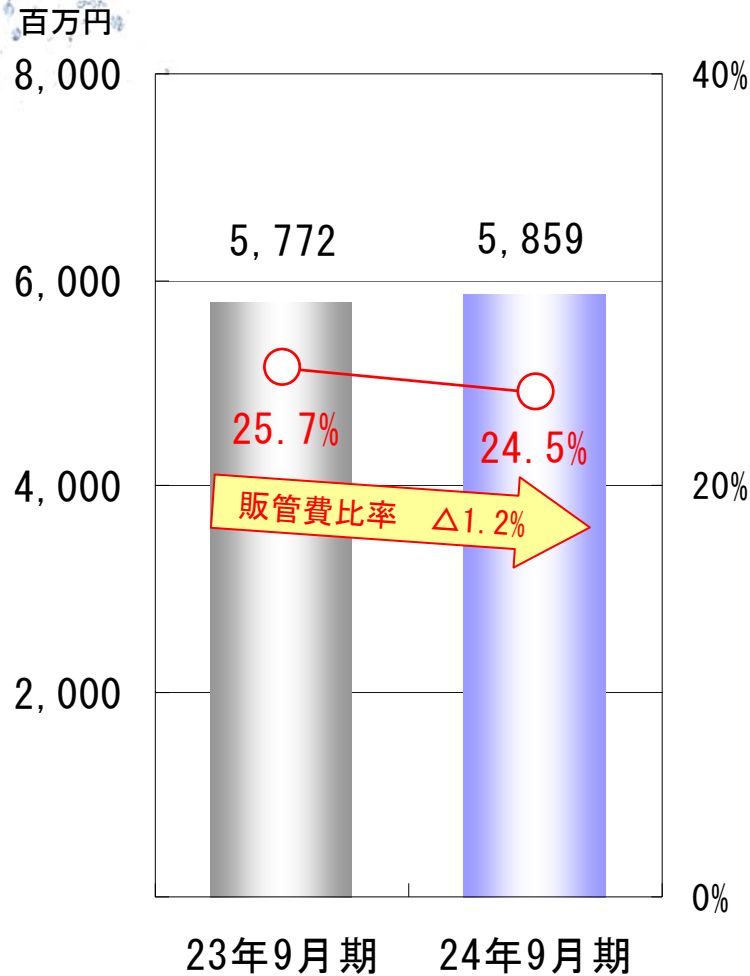
誤穿刺防止機構付翼状針

静脈注射や採血、点滴に使用するチューブがついた注射針で、固定しやすい形状になっています。使用后、チューブを引くと針先が本体に収納され、針刺し事故を防止します。

売上高／システム部門別



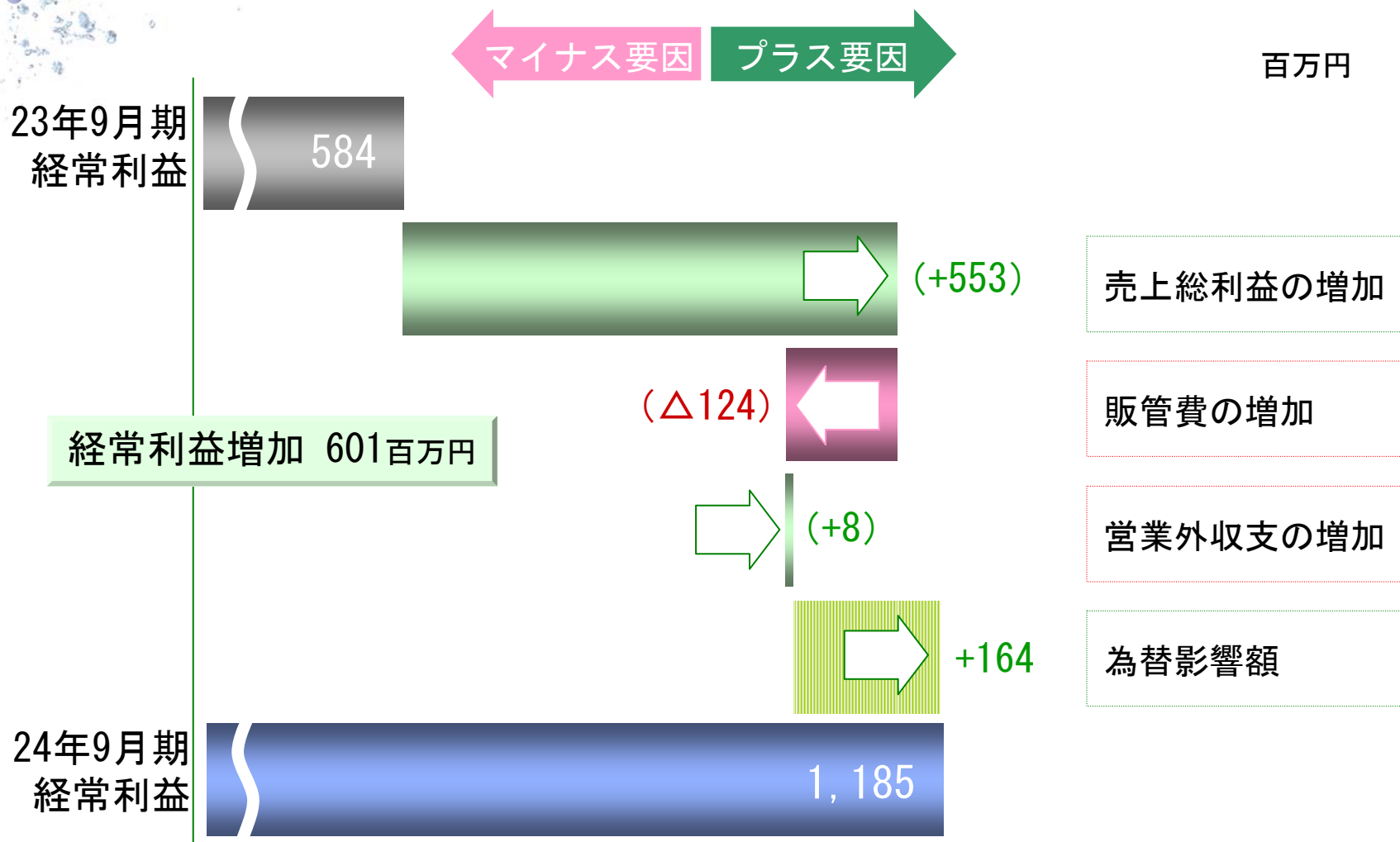
販売費及び一般管理費



百万円

	2011年 (平成23年) 9月期	2012年 (平成24年) 9月期	増 減	対前期 増減率
人 件 費	2,522	2,621	99	4.0%
運 送 費	636	689	53	8.5%
研究開発費	717	610	△106	△14.9%
減価償却費	211	167	△44	△21.2%
そ の 他	1,685	1,770	84	5.0%
計	5,772	5,859	86	1.5%

経常利益：前期実績との比較



()内は為替影響を除く

平成25年3月期 通期連結業績予想



百万円

	2012年(平成24年) 3月期 実績	2013年(平成25年) 3月期 通期予想	対前期 増減率
売上高	46,836	48,000	2.5%
営業利益	1,052	2,300	118.6%
経常利益	1,382	2,500	80.8%
当期純利益	942	1,550	64.5%
一株当たり 当期純利益	21.84円	35.92円	---

当社グループでは「医療の安全」「医療の効率化」「再生医療」の3つをキーワードとして、市場の変化に的確に対応しつつ医療の安全に貢献する製品の販売を拡大し、また、あらゆる面で原価低減を推し進め収益拡大に努めてまいります。更に、自社の技術を活かした製品の差別化とともに、アライアンスによる製品群の拡充を図って販売を進めてまいります。

- 針刺し事故を防止する静脈留置カテーテル
「セーフウイングキャス」販売開始
2012年(平成24年) 9月27日
- 電子線滅菌工場建設に関するお知らせ
2012年(平成24年) 6月25日
- 新発売 半固形状栄養材注入システム
「ジェイフィード ペグアシスタ」
2012年(平成24年) 4月20日
- 東北大学に「統合腎不全医療寄附講座」を開設
2012年(平成24年) 3月29日
- 再生医療に関する共同研究契約を建国大学(韓国)と締結
2012年(平成24年) 3月29日



針刺し事故防止静脈留置カテーテル
「セーフウイングキャス」



千代田工場(広島県山県郡)敷地内
電子線滅菌工場
完成予想図

※日付:プレスリリース開示日

ジェイ・エム・エスは、「患者様第一主義」を企業理念に掲げ、医療に貢献する企業として活動を続けています。

ジェイ・エム・エスは、これからも
[お客さまに感動を与える製品とサービスの提供]を基本方針に、
医療従事者の方々、患者様・ご家族、一人ひとりに、笑顔と元気
を与え、より多くの幸せを創り出すことに、グループ一丸となっ
て専念して参ります。

今後とも格別のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。